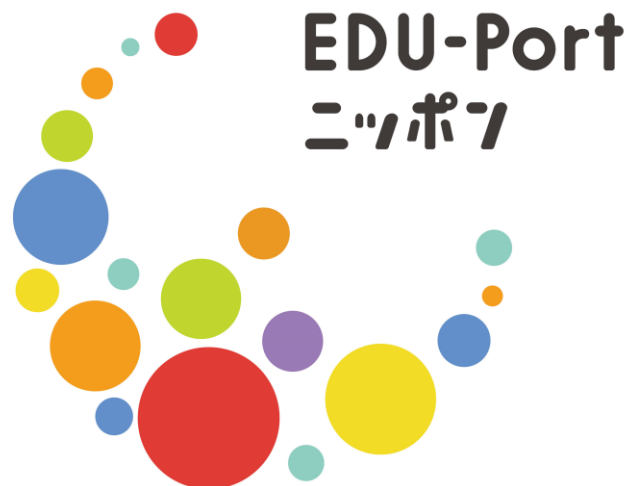


## 海外小学生向け算数 e ラーニング「Surala Ninja!」 日本型教育の海外展開事業「EDU-Port ニッポン」公認 PJ に採択 コロナ休校が続くスリランカで“学びを止めない”サポートを実施

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：湯野川孝彦）が開発・提供する海外小学生向け算数 e-ラーニング「Surala Ninja!」の海外展開事業が、官民協働のオールジャパンで取り組む日本型教育の海外展開事業「EDU-Port ニッポン」パイロット事業 公認プロジェクトに採択されました。今回の採択は、2018年度、2019年度に続き三回目の採択となります。



すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、アダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」を、国内では約 1,200 校の塾、学校等に提供しています。全国の有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け代表的な EdTech スタートアップ企業として 2017 年に東証マザーズに上場しました。2018 年には政府の特待生「J-Startup 企業」に認定され、EdTech 業界をリードする企業として活動しています。

「Surala Ninja!」は、「すらら」の海外版として小学生向けに開発された、インタラクティブなアニメーションを通じて加減乗除の四則計算を楽しく学べる e ラーニングシステムです。現在、スリランカ向けのシンハラ語版、インドネシア向けのインドネシア語版、また、主にインドやフィリピンで活用されている英語版があります。スリランカにおいては、現地パートナー会社の Next Learners (Pvt) Ltd. と連携し、私立学校や学習塾を中心に展開しています。

# NEWS RELEASE

---

「EDU-Port ニッポン」とは官民協働のオールジャパンで取り組む「日本型教育の海外展開事業」です。2016年より文部科学省、経済産業省、外務省、国際協力機構（JICA）、日本貿易振興機構（JETRO）をはじめ、地方公共団体、教育機関、民間企業、NPO など官民協働で「EDU-Port ニッポン」事業に取り組み、日本の魅力ある教育の海外展開を促進しています。「EDU-Port ニッポン」において、実証的に海外で事業を展開する取り組みが「パイロット事業」です。

スリランカでは、新型コロナウイルスの感染拡大により学校が3月中旬から休校となり、現在も一部再開の動きはあるものの、その状況が長期化しています。この事態を受け、すららネットは4月以降「Surala Ninja!」での自宅学習サービスを開始し、5月末までに500名以上の生徒に自宅でのオンライン学習を提供しています。

また、1年前の2019年4月には、スリランカの主要都市コロンボで同時多発テロが起こり、多くの学校が長期休校を与儀なくされました。このように、パンデミックや自然災害、テロなどにより休校が続く状況下で、いかに学びを止めないかという問題意識が高まっています。本年度のEDU-Port 公認プロジェクトでは、eラーニング教材「Surala Ninja!」の提供、「デジタル算数コンテスト」や現地教員の日本への研修派遣などを通じた教育のデジタル化・グローバル化の推進と、学びを止めないための教育継続計画というサポートを通じて、緊急時対策も含めた教育現場へのデジタル教育の普及活動を展開してまいります。

すららネットは今後も、世界中の教育格差という社会課題を最先端技術で解決し、教育格差の根絶に向け貢献していきます。